



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年11月12日

上場会社名 オリエンタルチエン工業株式会社
 コード番号 6380 URL <http://www.ocm.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

(氏名) 西村 武
 (氏名) 金谷 武志

TEL 076-276-1155

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,388	△15.5	△29	—	△28	—	△23	—
2020年3月期第2四半期	1,643	△10.4	3	△96.1	3	△96.1	5	△91.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△16.95	—
2020年3月期第2四半期	3.54	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	3,717	1,378	37.1	994.30
2020年3月期	3,833	1,425	37.2	987.95

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,378百万円 2020年3月期 1,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,801	△21.7	△22	—	△21	—	△22	—	△15.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(2020年11月12日)公表いたしました「第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異および業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	1,467,233 株	2020年3月期	1,467,233 株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	80,647 株	2020年3月期	24,500 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	1,406,135 株	2020年3月期2Q	1,461,639 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、国内外において経済活動が制限され、急速な悪化が続く厳しい状況となりましたが、感染拡大の防止策を講じた各種政策等の効果により、一部に経済活動の回復に向けた動きもみられるようになりました。しかしながら、国内外とも感染状況が終息に向かうのにはほど遠く、先行きは依然として不透明な状況が継続すると見込まれます。

このような状況下にあつて当社は、市場の多様なニーズへの対応力を高め、受注拡大に向けての製品の差別化や、コスト削減、工場の生産性を高める取り組みを継続・強化してまいりました。しかしながら、製造業では生産調整等が行われ当社を取巻く市場の減速は大きく、また、当社の新たな3カ年計画に基づく営業活動も、新型コロナウイルス感染対策による訪問営業の自粛等により、十分な営業活動が行えない厳しい状況となり、売上は大きく落ち込みました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は1,388百万円（前年同四半期比15.5%減）となり、減収による影響で、営業損失29百万円（前年同四半期営業利益3百万円）、経常損失28百万円（前年同四半期経常利益3百万円）、四半期純損失23百万円（前年同四半期四半期純利益5百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①チェーン事業

国内では、食品機械業界向けや弱電精密機械業界向けがわずかに増加しましたが、工作機械業界向けが大きく減少し、また、主力の搬送機械業界向けや農機具業界向けが減少しました。一方、輸出においては、南米向けが減少しましたが、北米向けが回復しました。これらの結果、売上高は1,288百万円（前年同四半期比16.1%減）、営業利益は31百万円（前年同四半期比63.1%減）となりました。

②金属射出成形事業

医療機器分野を中心に受注拡大を図る営業活動を継続してまいりましたが、量産品の売上が減少しました。その結果、売上高は77百万円（前年同四半期比18.4%減）、営業利益は3百万円（前年同四半期比70.7%減）となりました。

③不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、前期の7月からリニューアルした賃貸ビルの貸与を開始しており、売上高は21百万円（前年同四半期比80.9%増）、営業利益は13百万円（前年同四半期は営業利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、3,717百万円で、前期末に比べて115百万円減少しました。これは、前期末と比べ、減収による売上債権の減少等を主要因として、流動資産が2,170百万円と110百万円減少したこと（受取手形が53百万円、売掛金が132百万円減少、現金及び預金が95百万円増加）、また、固定資産が1,546百万円と5百万円減少したこと）によるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、2,338百万円で、前期末に比べて69百万円減少しました。これは、前期末と比べ、仕入商品減少等により仕入債務の減少、設備の未払等の減少を主要因として、流動負債が1,336百万円と222百万円減少したこと（支払手形が96百万円、買掛金が40百万円、短期借入金が44百万円、その他の流動負債に含まれる設備未払金24百万円、設備支払手形が21百万円減少）、また、運転資金として長期借入300百万円の借入を実施したことで、固定負債が1,002百万円と153百万円増加（長期借入金が166百万円増加）したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、1,378百万円で、前期末と比べ46百万円減少しました。主な要因は、自己株式の取得31百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前期末の37.2%から当第2四半期会計期間末は37.1%になりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ95百万円増加し、354百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得た資金は102百万円（前年同四半期は45百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純損失29百万円、減価償却費79百万円、売上債権の減少200百万円、仕入債務の減少136百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は98百万円（前年同四半期は2百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出100百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得た資金は90百万円（前年同四半期は50百万円の収入）となりました。これは、長期借入による収入300百万円、短期借入金の返済60百万円、長期借入金の返済による支出117百万円、自己株の取得31百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期第2四半期累計期間の業績につきましては、2020年8月13日に公表いたしました業績予想との間に差異が生じております。また、2021年3月期通期の業績予想につきましては、2020年8月13日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表の「第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	308,947	404,049
受取手形	336,207	282,277
電子記録債権	271,577	256,328
売掛金	498,303	366,097
商品及び製品	197,684	188,214
仕掛品	380,395	362,140
原材料及び貯蔵品	236,447	255,414
その他	51,777	56,519
貸倒引当金	△180	△150
流動資産合計	2,281,161	2,170,892
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	391,699	383,044
機械及び装置（純額）	464,745	449,937
土地	246,442	246,442
建設仮勘定	46,088	48,916
その他（純額）	51,960	50,148
有形固定資産合計	1,200,936	1,178,489
無形固定資産	21,053	18,183
投資その他の資産		
投資有価証券	82,126	92,228
その他	247,851	257,959
貸倒引当金	—	△404
投資その他の資産合計	329,977	349,782
固定資産合計	1,551,968	1,546,455
資産合計	3,833,129	3,717,348

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	452,773	356,284
買掛金	161,833	121,817
短期借入金	706,364	661,607
未払法人税等	21,024	9,728
賞与引当金	39,376	49,120
その他	177,820	137,951
流動負債合計	1,559,193	1,336,510
固定負債		
長期借入金	462,159	628,959
退職給付引当金	335,904	322,666
役員退職慰労引当金	27,890	27,890
その他	22,636	22,636
固定負債合計	848,590	1,002,151
負債合計	2,407,783	2,338,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,066,950	1,066,950
資本剰余金	168,230	168,230
利益剰余金	247,723	223,895
自己株式	△18,648	△50,219
株主資本合計	1,464,254	1,408,855
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△38,908	△30,174
繰延ヘッジ損益	—	3
評価・換算差額等合計	△38,908	△30,170
純資産合計	1,425,345	1,378,685
負債純資産合計	3,833,129	3,717,348

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,643,498	1,388,000
売上原価	1,387,243	1,206,842
売上総利益	256,255	181,157
販売費及び一般管理費	252,865	211,047
営業利益又は営業損失(△)	3,389	△29,889
営業外収益		
受取利息	37	21
受取配当金	3,219	3,046
為替差益	661	448
保険解約返戻金	4,065	4,189
その他	1,542	1,879
営業外収益合計	9,527	9,586
営業外費用		
支払利息	5,109	5,567
売上割引	2,791	2,310
その他	1,467	353
営業外費用合計	9,369	8,232
経常利益又は経常損失(△)	3,547	△28,535
特別利益		
投資有価証券売却益	8,010	—
特別利益合計	8,010	—
特別損失		
固定資産廃棄損	72	610
特別損失合計	72	610
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	11,485	△29,145
法人税、住民税及び事業税	12,726	3,546
法人税等調整額	△6,409	△8,864
法人税等合計	6,317	△5,317
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,167	△23,828

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	11,485	△29,145
減価償却費	61,905	79,612
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20	374
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,134	9,744
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13,460	△13,238
役員退職慰労金の支払額	△2,177	—
受取利息及び受取配当金	△3,257	△3,046
支払利息	5,109	5,567
為替差損益 (△は益)	△84	57
固定資産廃棄損	72	610
投資有価証券売却損益 (△は益)	△8,010	—
売上債権の増減額 (△は増加)	110,420	200,573
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△18,347	8,758
仕入債務の増減額 (△は減少)	△107,926	△136,505
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,454	440
その他	△542	△4,396
小計	75,676	119,407
利息及び配当金の受取額	3,257	3,046
利息の支払額	△5,244	△5,570
法人税等の支払額	△28,051	△14,085
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,638	102,797
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△160,774	△100,763
投資有価証券の取得による支出	△782	△780
投資有価証券の売却による収入	9,850	—
貸付金の回収による収入	631	589
定期預金の預入による支出	△50,000	△50,000
定期預金の払戻による収入	170,000	50,000
預り保証金の受入による収入	22,636	—
その他	5,593	2,846
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,845	△98,107
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△60,000
長期借入れによる収入	150,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△99,711	△117,957
自己株式の取得による支出	—	△31,570
財務活動によるキャッシュ・フロー	50,288	90,471
現金及び現金同等物に係る換算差額	84	△59
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	93,166	95,102
現金及び現金同等物の期首残高	181,930	258,947
現金及び現金同等物の四半期末残高	275,097	354,049

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	チェー ン 事業	金属射出 成形事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,536,683	94,669	12,145	1,643,498	—	1,643,498
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,536,683	94,669	12,145	1,643,498	—	1,643,498
セグメント利益	85,517	13,419	947	99,884	△96,494	3,389

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	チェー ン 事業	金属射出 成形事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,288,818	77,215	21,965	1,388,000	—	1,388,000
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,288,818	77,215	21,965	1,388,000	—	1,388,000
セグメント利益	31,563	3,934	13,188	48,685	△78,575	△29,889

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期累計期間より、従来「その他」に含まれていた「不動産賃貸事業」について金額的重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期累計期間のセグメントの情報は、変更後の報告セグメントの区分により作成したものを記載しております。